

多久市総合計画振り返り検証報告書の見方

施策ごとの指標について、評価すべき点と課題として捉えることのできる点を記載

1-1 学校教育の充実

- ➤ 研究発表会や講演会の参加者数が令和2年度から2倍以上に増加し、令和6年度には目標値を60人上回る結果となりました。
- ▶ 地域ボランティアの延べ参加人数は、令和2年度から8倍以上に増加しており、朝のあいさつ運動や交通安全指導、昼休みの巡回活動等、様々な場面で地域の方の協力を得ることができていると推察されます。引き続き新たな人材発掘にも取り組むことが重要です。
- ▶ 児童生徒の交通事故件数が令和6年度に14件と、令和4年度以降増加傾向にあり、目標達成には制度の改善や交通安全指導の徹底が必要です。事故の未然防止に向けて、危険箇所での指導強化や自転車交通安全教室の実施を推進することが期待されます。
- ➤ 不登校生徒の割合も6%台を推移する状況が続いており、目標値の達成には至りませんでした。引き続き初期対応の充実に努め、早期解決に取り組んでいくことが必要です。

■成果指標進捗評価分析

No	成果指標	基準値 (R1)	目標値 (R6)				績値推移			達成状況
1	研究発表会や講演会 の参加者数	220人	240人	(人) 400 300 200 100	126	258	330	365	300	400%
				0 —	R2	R3	R4	R5	R6	
2	地域学習に取り組む学 校の割合	100%	100%	(%) 200 —	100	100	100	100	100	100%
				0 —	R2	R3	R4	R 5	R6	
3	地域ボランティアの延べ参	1,000人	2,000人	(人) 4,000 3,000 2,000	414	508	1,102	2,325	3,450	245%
T .	加人数	1,000/(2,0007	1,000	R2	R3	R4	R5	R6	

達成状況算出方法

- ◆ (R6実績値-基準値)/(R6目標値-基準値)×100
- ※基準値がR6目標値を上回っている・基準値がない・実績値が基準値を下回っている場合
- ◆ R6実績値/R6目標値×100
- ※減少することが目標の場合、目標未達の場合、達成状況は0%としている

施策目標 1 子どもすくすく -教育重視・子育で応援のまちづくり

1-1 学校教育の充実

- ▶ 研究発表会や講演会の参加者数が令和2年度から2倍以上に増加し、令和6年度には目標値を60人上回る結果となりました。
- ▶ 地域ボランティアの延べ参加人数は、令和2年度から8倍以上に増加しており、朝のあいさつ運動や交通安全指導、昼休みの巡回活動等、様々な場面で地域の方の協力を得ることができていると推察されます。引き続き新たな人材発掘にも取り組むことが重要です。
- ➤ 児童生徒の交通事故件数が令和6年度に14件と、令和4年度以降増加傾向にあり、目標達成には制度の改善や交通安全指導の徹底が必要です。事故の未然防止に向けて、危険箇所での指導強化や自転車交通安全教室の実施を推進することが期待されます。
- ➤ 不登校生徒の割合も6%台を推移する状況が続いており、目標値の達成には至りませんでした。引き続き初期対応の充実に努め、早期解決に取り組んでいくことが必要です。

No	成果指標	基準値 (R1)	目標値 (R6)			実	:績値推移			達成状況
1	研究発表会や講演会 の参加者数	220人	240人	(人) 400 300 200 100 0	126	258	330	365	300	400%
				0	R2	R3	R4	R 5	R6	
2	地域学習に取り組む学校の割合	100%	100%	(%) 200 — 100 — 0 —	100 R 2	100 R3	100 R 4	100 R 5	100 R 6	100%
3	地域ボランティアの延べ参加人数	1,000人	2,000人	(人) 4,000 3,000 2,000 1,000	414 R 2	508 R 3	1,102 R 4	2,325 R 5	3,450 R 6	245%

1-1 学校教育の充実

No	 成果指標 	基準値 (R1)	目標値 (R6)			5	実績値推移			達成状況
4	 児童生徒の交通事故件 数	6件	0件	(件) 15 —— 10 —— 5 —— 0 ——	3 R2	3 R3	1 R4	8 R5	14 R 6	0%
5	不登校生徒の割合	5%	2.4%	(%) 10.0 — 5.0 — 0.0 —	4.1 R2	7.5 R 3	6.5 R 4	6.6 R 5	6.3 R 6	0%
6	学校施設改修工事の実 施件数	4件	4件	(件) 10 —— 5 —— 0 ——	4 R2	5 R3	7 • R4	6 R5	6 R6	150%

1-2 子育て支援の充実

- ▶ 児童センター「あじさい」と子育て支援センターの利用者数はいずれも5年間で2倍以上に増加し、SNSやイベント開催による利用促進が成果をあげているものと推察されます。
- ➤ 子ども家庭総合支援拠点対応件数が令和6年度で188件と目標値を大きく下回っており、直近5年間でも低い水準で推移しています。今後は、家庭相談員の人材確保による支援体制の強化など、改善策の検討が必要です。

No	 成果指標 	基準値 (R1)	目標値 (R6)			実	ミ績値推移			達成状況
7	 児童センター「あじさい」 利用者数	36,516人	32,845人	(人) 40,000 20,000	14,373	18,829	24,421	31,385	36,379	111%
				0	R2	R3	R4	R 5	R 6	
8	保育待機児童数	0人	0人	10 (人) 5 ————————————————————————————————————	R2	R3	R 4	R 5	R 6	100%
9	子ども家庭総合支援拠 点対応件数	365件	562件	(件) 400 300 200 100 0	212 R2	189 R 3	156 R 4	190 R 5	188 R 6	33%

1-2 子育て支援の充実

No	 成果指標 	基準値 (R1)	目標値 (R6)			実	:績値推移			達成状況
10	利用者支援事業 対応件数	286件	197件	(件) 400 — 300 — 200 — 100 — 0 —	201	187	143	72	276	11%
					R2	R3	R 4	R 5	R6	
11	子育て支援センター 利用者数	10,863人	7,521人	(件) 20,000 — 10,000 — 0 —	5,490 R 2	6,404 R 3	8,132 R 4	11,231 R5	13,698 	182%

施策目標 2 市民が主役 -人が輝く文化・スポーツ交流のまちづくり

2-1 生涯学習体制の充実と地域学習活動の推進

- ➤ 公民館利用者数は直近5年間で増加傾向にあり、新しい北多久公民館の研修室増設や中央公民館大ホールの大会利用の増加が利用者数の伸びにつながっていると考えられます。
- ▶ 図書館入館者数は令和6年度には目標値を2万人近く上回っており、開館時間の延長やイベントの充実など利用環境の整備の効果で今後の継続した目標達成が期待されます。
- ▶ 多久市子ども教室および各町子ども教室の参加者はいずれも目標値を大きく下回っており、子どもの現状のニーズに即した新たな体験教室の導入などの事業の見直しや、目標設定の見直しが必要になると考えられます

No	成果指標	基準値 (R1)	目標値 (R6)			実	淫績値推移			 達成状況
12	多久市子ども教室 参加者	760人	760人	(人) 500 —	180	450	458	402	405	53%
				0 -	R2	R3	R4	R 5	R6	
13	各町子ども教室 参加者	2,500人	2,500人	(人) 4,000 - 2,000 - 0 -	2,255	1,403	1,450	1,711	1,246	50%
					R2	R3	R4	R 5	R6	
14	公民館利用者数	84,600人	85,000人	100,000 — 50,000 —	43,484	47,393	55,477	71,006	74,338	87%
				0 -	R2	R3	R4	R 5	R6	

2-1 生涯学習体制の充実と地域学習活動の推進

No	 成果指標 	基準値 (R1)	目標値 (R6)			実	績値推移			 達成状況
15	図書館入館者数	9,000人	12,000人	40,000 — 20,000 — 0 —	18,624	25,944	32,640	35,496	31,422	747%
				-	R2	R3	R4	R 5	R6	

2-2 文化遺産の保存活用と文化芸術活動の推進

- ▶ 文化連盟加盟団体数は、目標値を下回っているものの、直近5年間では大きな減少なく推移しています。減少を防ぐためにも、連盟内の会員減少対策専門委員会と連携し、支援していくことが重要です。
- ▶ 資料館入館者数は令和4年度以降減少傾向にあり、令和6年度は目標値を2,000人以上下回っている状況です。入館者数を増加させるためにも、 資料館の老朽化対策やHPでの周知の強化に取り組むことが必要です。

No	 成果指標 	基準値 (R1)	目標値 (R6)			実統	績値推移			 達成状況
16	文化連盟加盟団体数	18団体	18団体	(団体) 20 — 18 — 16 —	18	17	17	16	16	89%
				14 —	R2	R3	R 4	R5	R6	
17	資料館入館者数	7,697人	8,800人	(人) 10,000 — 5,000 — 0 —	5,987	4,718	8,029	6,704	6,162	70%
				0	R 2	R3	R 4	R5	R 6	
18	文化財の指定・ 登録件数	48件	51件	(件) 50 — 49 — 48 — 47 —	48 R 2	48 R 3	49 R 4	49 R 5	49 R 6	33%

2-2 文化遺産の保存活用と文化芸術活動の推進

No	 成果指標 	基準値 (R1)	目標値 (R6)			実	:績値推移			 達成状況
19	東原庠舎利用者数	3,344人	4,500人	4,000 - 2,000 - 0 -	1,508 R 2	1,896 R 3	2,208 R4	2,210 R 5	2,335 R 6	52%

2-3 スポーツの振興

- ▶ 社会体育施設利用者数は、国民スポーツ大会開催の影響などを受け、令和6年度の目標値を2万人以上上回っており、事業が順調に進んでいることが推察されます。
- ▶ ピアサークル指導者数は、過去4年連続で目標値を上回っており、指導者不足が課題となる中、各サークルで新たな指導者を確保することができています。
- ▶ 総合型地域スポーツクラブ「多久スポーツピア」会員数は部活動の地域移行の影響もあり、令和6年度には100人以上減少し、目標値を達成できませんでした。今後は加入状況が低い高校生の年代から30代のピア会員の加入促進に取り組むことが重要です。

No	成果指標	基準値 (R1)	目標値 (R6)			実	績値推移			 達成状況
20	社会体育施設 利用者数	155,221人	160,000人	(人) 400,000 - 200,000 - 0 -	133,782 R 2	131,172 R 3	166,595 R 4	226,362 R 5	185,725 R 6	638%
21	総合型地域スポーツクラブ 「多久スポーツピア」会員 数	949人	900人	(人) 1,000 — 800 — 600 —	855 R 2	832 R 3	917 R4	975 R 5	828 R 6	247%
22	ピアサークル指導者数	25名	40名	(名) 100 — 50 — 0 —	38 R2	41 • R3	50 R4	55 R 5	43 R 6	120%

2-4 地域間交流・国際交流の推進

- ▶ 県が主催し、市が共催する国際交流イベントへの参加延べ人数は令和4年度以降増加しており、令和6年度には目標値を30人以上上回る結果となりました。ビザの申請が緩和されていることもあり、社会情勢を注視しつつ、事業を推進し、交流や連携の更なる拡大を目指していくことが重要です。
- ▶ 地域間交流イベント参加者数は直近5年間で0人であり、令和6年度は宮崎県の実施であったため、案内ができておらず、今後は事業の継続方法を検討する必要があります。

No	人 人 成果指標 人	基準値 (R1)	目標値 (R6)			実	續値推移			達成状況
23	市等が主催する国際交 流イベント等への参加延 ベ人数	15人	20人	(人) 100 — 50 — 0 —	0 R2	0 R3	0 R4	30 R 5	54 R 6	780%
24	地域間交流イベント参加者数	0人	5人	(人) ₄ — 2 — 0 —	0 R 2	0 R3	0 R4	0 R 5	0 R 6	0%

施策目標3 生涯安心 -人にやさしい健康・医療・福祉のまちづくり

3-1 医療体制の充実

- ➤ 新たな公立病院整備は順調に進み、令和 6 年度は令和7年3月末の竣工と7月の開院に向けて着実に準備が進められました。
- ▶ 健康相談件数は、令和6年度こそ目標達成とならなかったものの、比較的高い水準を維持していると推察されます。来院患者への積極的な声掛け、相談しやすい雰囲気の醸成などに取り組むことが有用です。
- ▶ 多くの指標で大きな改善が見られず、医師や理学療法士など医療人材の確保難により救急患者対応やリハビリ件数の伸び悩みが課題となってい、 ます。新病院開院に向け、体制強化や企業健診・訪問看護のサービス拡充などの対策が必要です。

No	 成果指標 	基準値 (R1)	目標値 (R6)	実績値推移	 達成状況
25	新たな公立病院整備の 進捗度	- %	100%	(%) 200 100 25 0 R3 R4 R5 R6	100%
26	救急車による患者数	275人	265人	(人) 400 211 195 204 211 249 200 0 R2 R3 R4 R5 R6	94%
27	手術件数	351件	340件	292 300 244 253 255 200 R2 R3 R4 R5 R6	75%

3-1 医療体制の充実

No	人 成果指標 人	基準値 (R1)	目標値 (R6)			実	績値推移			 達成状況
28	健康診断件数	309件	310件	(件) 400 — 200 — 0 —	232 R 2	161 R3	224 R 4	216 R 5	202 R 6	65%
29	訪問看護件数	121件	150件	(件) 200 — 100 — 0 —	61 R2	55 R 3	39 R4	100 R 5	61 R 6	41%
30	臨床研修医の 受入人数	5人	7人	(A) 10 — 5 — 0 —	4 R2	5 R3	1 R4	2 R5	0 R 6	0%
31	運動器リハビリ件数	19,979件	21,000件	(件) 20,000 — 10,000 — 0 —	17,412 R2	14,597 R 3	13,383 R4	15,741 R 5	12,638 R 6	60%

3-1 医療体制の充実

No	 成果指標 	基準値 (R1)	目標値 (R6)	実績値推移	達成状況
32	消炎鎮痛リハビリ件数	3,604件	5,500件	(件) 4,000 2,000 R2 R3 R4 R5 R6	19%
33	健康相談件数	1,058件	1,200件	(件) 2,000 1,250 1,000 0 R2 R3 R4 R5 R6	86%

3-2 健康づくりの推進

- ▶ 出産等アンケートで「子育ての住居・環境に満足している」と回答した割合は、令和6年度には93.9%と直近5年間で最も高い水準となりました。児童センター「あじさい」の紹介など、引き続き楽しく子育てができる場の提供に取り組んでいくことが重要です。
- ▶ 4~6か月児の乳児健診受診率は直近5年間で90%台を推移しており、未受診者への電話や訪問による状況把握や受診勧奨、さらに相談会などを通じた支援が高い受診率につながっていると推察されます。
- ➤ 若い世代の健診受診率や、メタボ・高血圧・糖尿病重症者の数値が横ばいであるなど、目標達成には至っていない状況です。今後は個別保健指導や周知方法の工夫、受診しやすい環境整備をさらに進め、受診率や健康指標の改善のための検討が必要だと考えられます。

No	 成果指標 	基準値 (R1)	目標値 (R6)	 						 達成状況
34	特定健診受診率	60.0%	65.0%	(%) 70.0 — 60.0 — 50.0 —	53.0	60.1	60.2	60.1	56.7	87%
				40.0	R2	R3	R4	R5	R 6	
35	メタボ該当率	19.9%	19.0%	(%) 30.0 — 25.0 — 20.0 —	24.2	25.5	25.2	25.7	24.7	0%
				(%) 5.0 —	R2	R3	R4	R 5	R6	
36	 高血圧重症者 	1.7%	1.5%	0.0	2.8	3.2	3.2	3.2	2.1	0%
				0.0	R2	R3	R 4	R 5	R6	

3-2 健康づくりの推進

No	成果指標	基準値 (R1)	目標値 (R6)	実績値推移	達成状況
37	糖尿病重症者	6.5%	6.0%	(%) 10 9 8 8 8 8 8 8 8 6 R2 R3 R4 R5 R6	0%
38	出産等アンケート「家族外 に相談できる人がいる」回 答率	97.3%	98.0%	(%) 100.0 97.0 97.7 95.0 93.4 95.1 95.8 90.0 R2 R3 R4 R5 R6	98%
39	出産等アンケート「子育て の住居・環境に満足」回 答率	81.1%	85.0%	(%) 100.0 86.1 92.6 93.6 93.9 78.9 60.0 R2 R3 R4 R5 R6	328%
40	がん検診受診者延数	7,513人	7,500人	7,321 6,593 6,765 6,600 5,694 5,000 R2 R3 R4 R5 R6	76%

3-2 健康づくりの推進

No	 成果指標 	基準値 (R1)	目標値 (R6)		実績値推移					
41	乳児健診受診率 (4~6か月児)	97.2%	100.0%	(%) 100.0 — 90.0 — 80.0 —	99.0	92.4	93.8	92.0	93.1	93%
					R 2	R3	R4	R 5	R 6	
42	3·6歳児健診受診率	93.2%	95.0%	(%) 100.0 — 95.0 — 90.0 —	96.1 R 2	92.4 R 3	94.1 R 4	95.8 R 5	93.7 • R 6	28%

3-3 地域福祉の充実

> -

▶ シルバー人材センター会員数は令和6年度に前年度から20人減少し、目標に達していないため、再雇用・定年延長制度の影響を踏まえつつ、シルバー人材センター事業の魅力を広く周知し、会員獲得に向けた広報活動を積極的に行う必要があります。

No	 成果指標 	基準値 (R1)	目標値 (R6)		実績値推移							
43	シルバー人材センター会員数	66人	70人	(人) 100 — 50 — 0 —	62 R 2	61 R 3	61 R4	67 R 5	47 • R 6	67%		

3-4 高齢者支援の充実

- ▶ 通いの場等の参加率は増加傾向にあり、住民主体による取り組みの継続が目標値達成につながっていると推察されます。
- ▶ 介護保険認定者要支援1・2の1年後の認定結果による改善率は、ケアマネジメントの継続的な取り組みにより、令和6年度には前年度から上昇し、 目標値を上回りました。
- ➤ 後期高齢者の要介護認定者での認知症治療者の割合は、40%前後を推移しており、目標値を下回っていることから、関係機関との連携や通いの場への介入により早期相談が結びつくよう活動を行う必要があります。

No	 成果指標 	基準値 (R1)	目標値 (R6)		 達成状況					
44	通いの場等の参加率	5.3%	7.3%	(%) 20 — 10 —	8	8	11	15	14	420%
				0 —	R2	R 3	R4	R5	R6	
45	介護保険認定者要支援 1・2の1年後の認定結果 による改善率	73.0%	73.0%	(%) 80 — 75 — 70 — 65 —	71	74	76	71	76	105%
				03	R 2	R 3	R 4	R5	R 6	
46	後期高齢者の要介護認 定者での認知症治療者 の割合	40.0%	38.0%	(%) 45 — 40 — 35 —	41	39	40	40	39	65%
					R2	R 3	R4	R 5	R 6	

3-5 障害者支援の充実

- ▶ グループホームの利用者数は微増ではあるが増加傾向にあり、障害者の家族が高齢となったケースや一人で生活が困難になったケースでの利用により増加したものと推察されます。
- ➤ 障害者相談件数は令和2年度以降、1,000件前後と低い状況が続いており、目標値を依然として大きく下回っていることから、事業や目標設定の 見直しが必要であると考えられます。令和6年度から実施している市報への相談窓口の掲載などを通じ周知していくことが重要です。

No	成果指標	基準値 (R1)	目標値 (R6)			達成状況				
47	グループホームの 利用者数	50人	60人	(人) 100 ——— 50 ———	50 R 2	52 R 3	56 R4	60 R 5	64 R 6	140%
48	障害者相談件数	1,316件	1,300件	1,000 ——— 0 ———	1,298 R 2	1,093 R 3	940 R4	1,101 R 5	1,013 R 6	78%

3-6 社会保障等の充実

- ▶ 令和6年の国民健康保険税収納率は95%と高く、目標値を達成している状況にあります。滞納者には早期に催告状を送付し、納税意識の向上と 滞納者の現状を把握し、的確な滞納整理を行ったことが目標達成につながったと推察されます。
- ➤ 特定健診受診率は、60%台を推移しており、目標値の達成には至っていません。特に若い世代の特定健診受診率が伸び悩んでいるため、健診体制や必要性の周知方法、勧奨方法等の工夫・検討は継続して行う必要があります。

No	 成果指標 	基準値 (R1)	目標値 (R6)	実績値推移	達成状況
49	国民健康保険税収納率	93.8%	95.0%	(%) 95 95.0 95 94.8 94.8 94.8 95 82 R3 R4 R5	95.0 100%
50	特定健診受診率	60%	65.0%	(%) 70 60.0 60.1 60.2 60 53.0 40 R1 R2 R3 R4	60.1 87%

3-7 困窮者支援等の確立

▶ 生活保護世帯からの自立件数は、毎年増加しており、令和2年度の約3倍となりました。関係団体との連携により、継続的な支援取り組みができており、令和7年度の目標達成も期待されます。

> -

No	成果指標	基準値 (R1)	目標値 (R6)		。 実績値推移 						
51	生活保護世帯からの自立件数	14世帯	15世帯	(世帯) 40 — 20 — 0 —	7 R2	11 R3	17 R4	18 R 5	22 R 6	800%	

施策目標 4 自然と共生 -安全で緑豊かな生活環境づくり

4-1 自然環境の保全

- ▶ 市施設における温暖化効果ガス排出量は、令和2年度から令和6年度にかけて横ばいで推移しており、目標値を達成している状況です。引き続き、 焼却ごみの減量化に向けて対策を講じていくことが重要です。
- ▶ 市内河川BOD調査で環境基準を達成した箇所数についても目標値を達成しており、河川水・ゴルフ場・事業所排水などの測定および監視を継続し、 基準値達成を目指していくことが求められます。

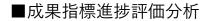
> -

No	人 成果指標 人	基準値 (R1)	目標値 (R6)		実績値推移						
52	市施設における温暖化効果ガス排出量	7,905 t	5,500 t	10,000 — 5,000 — 0 —	4,955 R 2	6,085 R 3	4,994 R 4	6,089 • R 5	5,028 R 6	120%	
53	市内河川BOD調査で環 境基準を達成した箇所数	17箇所	17箇所	(箇所) 18 — 17 — 16 — 15 —	16 R2	17 R3	17 R4	17 R5	17 R 6	100%	

4-2 上・下水道の充実

➤ 汚水処理人口普及率は毎年増加しており、令和6年度に目標値を達成しました。公共水域における水質保全のPRを実施したことが効果的であったと推察されます。

> -



No	 成果指標 	基準値 (R1)	目標値 (R6)		実績値推移							
54	汚水処理人口普及率	56.9%	58.8%	(%) 70 — 60 — 50 —	58.3 R 2	60.3 R 3	61.6 R4	63.9 R 5	64.7 R 6	411%		

4-3 廃棄物の適正な処理とリサイクルの推進

- ▶ 市民一人当たりのごみの排出量は、毎年減少しており、直近3年間では目標を達成していることから、事業が順調に進んでいることが推察されます。
- ▶ 事業系ごみの排出量について、令和5年度に増加して以来ほぼ基準値まで戻っているものの、経済活動の活発化とごみ排出量削減という相反する 取組に対し、課題意識をもって対策に取り組むことが重要です。
- ▶ 一般廃棄物のリサイクル率がやや減少傾向にあり、令和6年度には9%と最も低い数値を記録したことから、事業の改善が必要です。

No	 成果指標 	基準値 (R1)	目標値 (R6)		実績値推移					
55	市民一人当たりの ごみの排出量	678g/人·日	636g/人·日	(g/人・日) 650 — 600 — 550 —	611	608	581	578	557	288%
				500 —	R2	R3	R4	R5	R6	
56	事業系ごみの排出量	1,471 t /年	1,405t/年	(t /年) 1,600 — 1,400 — 1,200 — 1,000 —	1,368	1,453	1,287	1,525	1,472	0%
					R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	
57	 一般廃棄物のリサイクル 率	14.3%	19%	(%) 20 — 10 — 0 —	12 R 2	13 R3	11 R4	11 R5	9 R 6	46%

4-4 消防・防災体制の充実

- ▶ 自主防災組織等が実施する防災研修・防災訓練の延べ実施数は、令和3年度と令和4年度を除き、目標値を達成している状況にあります。
- ▶ 緊急情報メール登録者数は毎年増加しており、令和6年度には目標値を400人以上上回る結果となりました。
- ▶ 避難行動要支援者名簿・個別計画同意者率は令和3年度から令和6年度にかけて50%台を推移し、目標値を下回っているため、対象者や近隣の民生委員等へ制度の周知を図っていくことが必要です。

No	 成果指標 	基準値 (R1)	目標値 (R6)		·····································									
58	自主防災組織等が実施 する防災研修・防災訓練 延べ実施数	7回	7回	(回) 10 — 5 — 0 —	8	5	5	7	8	114%				
					R 2	R3	R4	R 5	R 6					
59	消防団員定員充足率	92%	100%	(%) 100 — 90 —	92	87	89	93	91	91%				
				80 —	R2	R 3	R4	R5	R 6					
60	耐震性貯水槽設置数	38基	46基	46基	46基	46基	46基	(基) 45 — 40 —	38	40	40	42	42	50%
				35 —	R2	R3	R4	R5	R 6					

4-4 消防・防災体制の充実

No	成果指標	基準値 (R1)	目標値 (R6)		実績値推移					
61	緊急情報メール 登録者数	579人	1,000人	(人) 2,000 — 1,000 — 0 —	914	1,108	1,202	1,347	1,451	207%
					R 2	R3	R4	R 5	R 6	
62	避難行動要支援者名 簿·個別計画同意者率	53.5%	70.0%	(%) 100 — 50 — 0 —	36 R2	51 R3	51 R4	54 R 5	54 R 6	1%

4-5 河川整備等の推進

➤ 緊急浚渫推進事業は令和2年度から令和5年度までは前年度の事業を繰り越して工事を行う状況が続いており、進捗が乏しかったが、令和6年度 は災害がなかったことから、令和5年度繰越分と令和6年度予算分を令和6年度にて工事が完了したため、進捗率が上がりました。

> -

No	 成果指標 	基準値 (R1)	目標値 (R6)		達成状況			
63	緊急浚渫推進事業	0%	80%	(%) 100 50 1 0 R3	19 • R4	37 R5	80 R6	100%

4-6 防犯活動・交通安全対策等の充実

- ➤ 防犯灯設置・助成基数は、防犯灯設置補助金を増額したことにより、令和6年度に70基以上に増加しました。引き続き、市民の安全のために、取組を継続していく必要があります。
- ▶ 令和6年度の交通事故発生件数は直近5年で最小値なったったことから、近年実施してきた取組の効果があらわれてきたと推察されます。
- ➤ 高齢者等の消費者啓発講座受講者数は、気候の影響で出前講座が開催できなかったことから、目標値の達成には至りませんでした。

No	 成果指標 	基準値 (R1)	目標値 (R6)		実績値推移					
64	防犯灯設置·助成基数	31基	37基	(基) 200 — 100 — 0 —	26 R 2	37 R3	34 R4	26 R 5	103 R 6	1200%
65	高齢者等の消費者啓発 講座受講者数	400人	400人	(人) 500 — 0 —	156 R 2	372 R 3	324 R4	396 R 5	320 R 6	80%
66	交通事故発生件数	106件	63件	(件) 200 — 100 — 0 —	106 R1	70 R 2	60 R 3	58 R 4	37 R 5	147%

施策目標 5 いきいきネット -交流と定住を支える生活基盤づくり

5-1 土地及び施設の有効利用

▶ 中央公園利用来園者数は、令和6年度の国民スポーツ大会の影響で700人以上目標値を上回りました。今後は令和6年度の結果を継続するための検討が必要です。

> -

No	 成果指標 	基準値 (R1)	目標値 (R6)		達成状況					
67	中央公園利用 来園者数	7,691人	8,083人	(人) 10,000 - 5,000 - 0 -	8,463 R 2	8,004 R 3	7,479 R 4	6,979 R 5	8,792 R 6	281%

5-2 住宅施策の充実

- ▶ 空き家バンク成約数は毎年増加しており、令和6年度は目標値を20件以上上回る結果となりました。インターネットによる利用申請フォーマットを作成し、利用希望者の利便性が向上したことから、今後の目標達成も期待できます。
- ▶ 定住奨励金制度の利用者数は年々減少しており、令和6年度には104件と、最小値を記録したことから、新たな対策を講じる必要があります。
- ▶ 管理不全な空き家の新規相談件数は、人口減少等により増加傾向にあります。令和6年度には相続登記が義務化されたため、周知を行っていくことが必要です。

No	 成果指標 	基準値 (R1)	目標値 (R6)			実	績値推移			達成状況
68	定住奨励金制度の 利用者数	116件	120件	(件) 200 — 100 — 0 —	142	146	142	131	104	87%
					R2	R 3	R 4	R 5	R 6	
69	空き家バンク成約数	112件	190件	(件) 400 — 200 — 0 —	130 R 2	157 R 3	176 R 4	196 R 5	212 R 6	128%
70	管理不全な空き家の新 規相談件数	20件	10件	(件) 40 — 20 — 0 —	18 R2	27 R 3	35 • R4	25 R 5	35 R6	0%

5-3 道路整備等の推進

- > -
- ▶ 橋梁長寿命化について、修繕を進めているものの、早期措置段階にあたるⅢ判定の橋梁が13橋に増加したため、引き続き修繕を行う必要があります。
- ▶ 道路長寿命化事業についても、事業は順調に進んでいるものの、道路パトロール等の巡回点検を踏まえ、修繕箇所が増加したため、対策を講じる必要があります。

No	 成果指標 	基準値 (R1)	目標値 (R6)		美	 震績値推移			 達成状況
71	橋梁長寿命化の 進捗度	8橋	2橋	(橋) 10 5 4 0 R2	6 •	8 ••••••••••••••••••••••••••••••••••••	8 •	8 	0%
72	道路長寿命化事業の 推進	30.0%	100.0%	(%) 100.0 61.8 50.0 0.0 R2	59.4 R 3	61.4 R4	74.3 R 5	80.3 R 6	72%

5-4 公共交通の充実

> -

▶ ふれあいバス・タクシー(チョイソコたく)の年間利用者数は減少傾向にあり、令和6年度時点で目標値を大きく下回っている状況にあります。今後も新しいサービスの周知や利用者の利便性向上に取り組み、利用者増加を目指していく必要があります。

No	 成果指標 	基準値 (R1)	目標値 (R6)			実	績値推移			 達成状況
73	ふれあいバス・タクシー (チョイソコたく)年間利 用者数	31,384人	35,000人	(人) 40,000 - 20,000 - 0 -	30,318 R 2	26,511 R3	25,947 R 4	26,020 R 5	22,737 R 6	65%

施策目標 6 産業間連携で拓く -雇用と活力を生み出す産業づくり

6-1 農林業の振興

- ➤ 新規就農者数は令和2年度から令和6年度にかけて増加傾向にあり、毎年目標を達成していることからも、令和7年度の累計目標値9人の達成が 期待できます。
- ➤ 認定農業者数について、令和2年度から令和6年度にかけて目標値を下回っている状況にあります。認定農業者も高齢化が進み、更新されない農家の方が多く、減少傾向にあると推察されることからも目標値の再検討が必要と考えられます。
- ▶ 森林整備事業実施面積について、森林整備に従事する者が少ないため、整備実施面積も減少傾向が続いており、事業や目標値の見直しが必要です。

No	成果指標	基準値 (R1)	目標値 (R6)			実統	責値推移			 達成状況
74	新規就農者数 (5年累計)	0人	5人	(人) 10 — 5 — 0 —	2 R 2	2 R3	6 R 4	7 R 5	8 R 6	160%
75	認定農業者数	81人	81人	(人) 80 — 75 — 70 —	79 R 2	76 R3	74 R 4	76 R 5	77 • R 6	95%
76	森林整備事業実施 面積	100ha	100ha	(ha) 100 — 50 — 0 —	76 R 2	62 R 3	81 R4	75 • R 5	50 • R 6	50%

6-1農林業の振興

No	 成果指標 	基準値 (R1)	目標値 (R6)			実	績値推移			達成状況
77	有害鳥獣による農産物の被害額	5,485千円	2,743千円	(千円) 20,000 - 10,000 - 0 -	10,070 R 2	14,290 R 3	8,835 R4	12,270 R 5	9,423 R 6	0%

6-2 商業の振興

- ➤ 新規創業者数は、多久市商工会と連携した支援により順調に増えているため、令和7年度での累積目標値21件の達成も期待されます。
- ▶ 開業支援数について、チャレンジショップ及び開業支援補助金事業の効果もあり、令和6年度は目標値を上回る結果となりました。
- ▶ キャッシュレス導入店舗数は、基準値に比べて大幅に増加していることから、事業が順調に進んでいることが推察されます。
- ▶ クラウドソーシングワーカー育成数については、令和2年度から令和6年度まで増減はなく、目標値も達成できていない状況にあります。コロナ禍の終了を受けて指標の見直しが必要だと考えられます。

No	 成果指標 	基準値 (R1)	目標値 (R6)			実	績値推移			達成状況
78	新規創業者数	3件	3件	(件) 40 — 20 — 0 —	9 R 2	11 R3	13 R4	16 R5	20 R 6	667%
79	開業支援数	1件	1件	(件) 5 — 0 —	1 R 2	2 R3	2 R4	1 R5	4 R6	400%
80	クラウドソーシングワーカー 育成数	35人	50人	(人) 40 — 20 — 0 —	35 R 2	35 R3	35 R4	35 R 5	35 R 6	70%

6-2 商業の振興

No	 成果指標 	基準値 (R1)	目標値 (R6)			実	績値推移			達成状況
81	キャッシュレス導入店舗数	43件	100件	(件) 400 — 200 — 0 —	143 R 2	143 R 3	245 R 4	288 R 5	359 R6	554%

6-3 工業の振興

- ▶ 企業誘致実現件数は令和3年度時点で令和6年度の目標値を上回っています。一方で増加傾向は見られず、横ばいで推移しているため、令和7年度の目標値達成のため、誘致先用地の確保等を引き続き進めていく必要があります。
- ➤ 誘致企業の市内従業員と雇用者数は順調に指標が増加しており、合同企業説明会の開催やPR事業が適切に行われているといえます。
- ▶ 製造品出荷額が令和2年度時点から基準値を下回っていることから、商工会等と連携し、経営力の向上をはじめとした対策を講じる必要があります。

No	成果指標	基準値 (R1)	目標値 (R6)	実績値推移	達成状況
82	企業誘致実現件数 (5年累計)	5件	3件	(件) 10	167%
83	誘致企業の市内 従業員の割合	30.0%	40.0%	(%) 32.0 30.3 30.0 29.0 29.6 28.0 R2 R3 R4 R5	-
84	誘致企業の市内新規雇 用者数	49人	60人	100 61 50 4 9 0 R2 R3 R4 R5	_

6-3 工業の振興

No	 成果指標 	基準値 (R1)	目標値 (R6)		実績値推移						
85	事業所数(従業者4人	36事業所	39事業所	(事業所) 50 —	38	38	46	45	_		
	以上)			0 —	R2	R3	R4	R 5			
	 	105.000	222.222	(万円) 200,000 —	180,309	141,418	131,677	137,251			
86	4人以上・1事業所あたり)	195,890 万円	230,000 万円	100,000 — 0 —					-		
					R2	R3	R4	R5			

6-4 観光の振興

- ▶ 観光入込客数は目標値には届いていないものの、イベントや新施設の影響で増加傾向にあり、夏場の観光客誘致の仕組みづくりを検討していることから、今後の目標達成が期待されます。
- ▶ 観光案内ボランティアの案内人数が目標値を大きく下回っていることから、必要な施策の検討や目標設定の見直しが必要であると考えられます。
- ▶ 体験型観光の利用者数について、前年度と同様の水準となっており、目標達成のために、新たな体験プランの検討を行う余地があります。

No	成果指標	基準値 (R1)	目標値 (R6)			実	績値推移			 達成状況
87	観光入込客数	553,919人	600,000人	(人) 500,000	351,691	357,403	425,555	456,233	472,310	79%
				0	R 2	R3	R4	R 5	R 6	
				(人) 5,000				4,481	2,770	
88	観光案内ボランティアの案 内人数	5,854人	6,146人		922	1,734	1,470		2,110	45%
				0	R 2	R3	R4	R5	R 6	
				(人) 400			238			
89	体験型観光の利用者数	74人	80人	200	9	58		66	64	80%
				0	R2	R3	R4	R 5	R 6	

施策目標7 市民と築く -みんなで取り組む参画と協働のまちづくり

7-1 地域活動・コミュニティ活動の充実

- ▶ ふるさと振興助成金申請件数について、目標値には届いていないものの、毎年順調に増加しているため、今後は新たなイベント事業申請に向けて広報を徹底することによって、目標達成が見込まれます。
- ▶ 地域おこし協力隊・集落支援員の配置数が目標値を達成しているものの、近年横ばいで推移しているため、令和7年度での目標達成に向けて対策が必要です。

No	人 人 成果指標 人	基準値 (R1)	目標値 (R6)			実	績値推移			 達成状況
90	ふるさと振興助成金申請 件数(イベント事業)	10件	60件	(件) 40 — 20 — 0 —	0 R2	3 R3	9 • R4	20 R 5	31 R6	42%
91	地域おこし協力隊・集落 支援員の配置数	1人	3人	(人) ₄ — 2 — 0 —	2 R2	3 • R3	2 R4	3 R5	3 R 6	100%

7-2 人権・同和教育及び男女共同参画の推進

- ▶ 心のセミナー参加者数は毎年増えているため、幅広い年齢層に興味を持ってもらえるようなテーマの選定や効果的な周知によって今後の目標達成が期待されます。
- ▶ 人権相談件数について、令和6年度は0件となっており、引き続き効果的な周知の施策など、必要な事業を検討していく必要があります。
- ➤ 審議会等の女性登用率は目標値には届かなかったものの、今後対策を講じることで、令和7年度での目標値の達成が見込めます。

No	 成果指標 	基準値 (R1)	目標値 (R6)		実績値推移						
92	│ ・ 心のセミナー(人権・同和 問題研修会、講演会、人 権フェスタ)参加者数		1,250人	1,000 — 500 — 0 —	467 R 2	498 R3	549 R 4	617 R 5	845 R 6	68%	
93	人権相談件数	0件	3件	(件) 5 — 0 —	4 R2	1 R3	3 R4	4 R5	0 R6	0%	
94	審議会等女性登用率	36.8%	40.0%	(%) 50.0 — 0.0 —	33.8 R2	38.7 R 3	36.6 R4	41.1 R5	37.9 R 6	34%	

7-2 人権・同和教育及び男女共同参画の推進

No	 成果指標 	基準値 (R1)	目標値 (R6)	実績値推移	達成状況
95	社会全体における男女平等感	17.1%	_	(%) 20 11 10 0 R4	_

施策目標8 市民と築く -開かれた自治体経営と持続可能なまちづくり

8-1 情報公開と広報広聴の充実

- ➤ SNS登録者数は増加傾向にあり、基準値と目標値を上回る状況となっています。
- ▶ また、SNSでの情報発信件数についても、26件/月と高い水準にあるため、継続的な情報発信が効果的であると考えられます。
- ▶ 市ホームページへの訪問者数は前年度からやや増加したものの、令和2年度から令和4年度までの水準には達しておらず、リニューアルの効果はまだ明確ではないため、今後は利用者のニーズを把握し、より効果的な情報発信やコンテンツの充実を図る必要があります。

No	成果指標	基準値 (R1)	目標値 (R6)	実績値推移						 達成状況
96	市ホームページへの訪問者数(月間)	24,000件	30,000件	(件) 50,000 —	33,369	39,331	37,132	22,348	26,267	38%
				0 —	R2	R3	R4	R 5	R6	
97	SNS登録者数	1,200人	1,800人	(人) 4,000 — 2,000 — 0 —	1,279	1,656	1,824	2,019	2,283	181%
					R2	R3	R4	R 5	R 6	
98	SNSでの発信情報	5件/月	15件/月	(件/月) 40 — 20 —	31	26	17	20	26	210%
				0 —	R2	R3	R4	R 5	R6	

8-2 持続可能な財政運営の推進

- ▶ 市税徴収率は令和6年度の目標を達成しており、滞納者への早期接触が効果を上げていると考えられるため、今後も継続して取り組むことが期待されます。
- ▶ 経常収支比率は令和3年度以降目標値を下回る状態が継続しており、財政の健全化が進んでいるといえます。
- ▶ 実質公債費比率は近年少しずつ増加しており、ピークは令和9年度となる見込みのため、その後数値が上昇し続けないよう、引き続き支出の抑制が必要となります。

No	 成果指標 	基準値 (R1)	目標値 (R6)		達成状況					
99	経常収支比率	103.6%	99%	(%) 110.0 — 100.0 — 90.0 — 80.0 —	100.6	91.2		95.8	93.7	
					R 2	R3		R4	R 5	
100	実質公債費比率	11%	10.5%	(%) 13.0 — 12.0 —	11.5	11.7		12.1	12.4	_
					R2	R3		R4	R 5	
101	市税徴収率	97.0%	97.3%	(%) 98 — 98 — 97 —	97 R2	97 R 3	98 R 4	98 R 5	97 • R 6	100%

8-3 公正で円滑な自治体経営の推進

- ▶ マイナンバーカード取得率は基準値より大きく増加しており、令和6年度の達成状況は9割を超えています。
- ▶ ふるさと応援寄附者数についても、広告費の投入によって返礼品の露出が高まったこともあり、令和4年度以降は目標値を大きく上回る結果となっています。一方、令和6年度に需要が高まった日用品や米の返礼品の取り扱いが少なく、令和5年度から令和6年度にかけては減少となったため、引き続き市の認知度向上に努め、寄附者数の増加を目指していきます。
- ▶ 委員構成に公募委員を設置している審議会数は、近年令和元年度と同一水準で推移しており、目標値との乖離が見られるため、対策検討の余地があります。

No	 成果指標 	基準値 (R1)	目標値 (R6)		 達成状況					
102	マイナンバーカード取得率	12.89%	100%	(%) 100.0 — 50.0 — 0.0 —	27.2 R 2	43.8 R3	74.0 R 4	83.6 R 5	92.7 ••••••••••••••••••••••••••••••••••••	92%
103	ふるさと応援寄附者数 (※概数)	36,000人	36,000人	100,000 -	33,961		48,227	70,052	60,655	
				36,000人	50,000 — 0 —	R2	29,737 R 3	R4	R5	R6
104	委員構成に公募委員を 設置している審議会数	5審議会 10審議会	10審議会	(A) 10 - 5 - 0 -	4	5	5	5	5	50%
					R2	R3	R4	R 5	R6	